

2019年度第5回理事会議事録

- 1 開催年月日 2019年3月14日(木) 14時～15時40分
- 2 開催場所 津リージョンプラザ2階 第1会議室 津市西丸之内23-1
- 3 出席理事名 永田克行、奥田昌広、小畑晴美、石丸香菜子、竹川善則、東郷修一、野口猛、福本豊、辻勝彦、山本淳一郎、岡本至、市川浩司、藤村元昭、森みどり
- 4 欠席理事名 今西貴久、佐藤宏樹
- 5 出席監事名 西中隆道、橋爪功次
- 6 協議事項
第1号議案 2019年度事業計画および予算案について
第2号議案 激甚災害時活動積立資産の対応について
第3号議案 事務所移転の方針について
第4号議案 旅費支給規程等の改正について

7. 開会

定足数(定款第38条): 理事総数16名中14名の出席により成立

議長(定款37条): 会長(永田克行)

議事録署名人(定款40条): 会長および出席監事(永田克行、西中隆道、橋爪功次)

書記: 事務局(小緑初美)

8. 各議案の議事および結果は次のとおり

議長から、挨拶を兼ねた執行役員の執務状況報告があり、議事に入った。

第1号議案の事業計画については動物愛護に関する事業を具体的にわかりやすく表現した以外は昨年と同様であるが体裁を箇条書きに変更している旨説明があり、原案通り承認された。予算については2号議案と併せて説明があった。1号議案の予算について事務局から、予算は昨年度より90万円減の収入5,380万、支出も同額にしてプラマイ0になりましたと説明し、異議無く承認された。会員の退会等による会費収入の減少が大きな要因となり、緊縮予算になっている。会員のメリットは何かを議論し、若い先生方の新入会、再入会を働きかけることが今後の課題である。理事の方には、職場等での積極的な入会の推進に、協力をお願いした。

第2号議案について事務局から説明。平成21年度から10年計画で積み上がった激甚災害時活動積立金約416万円について、三重県から今年度中に執行するよう求められている。当初の計画に沿って、犬・猫保護保管用の折りたたみケージ総数204個と、ケージを収納する物置2個を合計約250万円で購入し、残金は、次年度から5年間計画で動物用医薬品等を購入し、使途目的資産の適正な取り崩しをめざす。保管場所は、三重県動物愛護推進センターあすまいる横の三重県動物管理事務所の敷地内。ここで西

中代表監事が「購入するのはいいが、盗難等大丈夫か、簡単な施錠で置いておいてもよいか懸念する。」と発言。事務局からは「物置の保管については、あすまいると管理事務所に依頼文書を出し了解をいただいている。鍵については、現状では問題ないと思うが、今後検討していく。」と回答した。第1号議案の予算の部分と第2号議案について併せて承認された。

第3号議案について事務局説明があり、異議無く承認された。三重県農業共済組合から事務局の賃借物件を紹介いただいた。そこに移転することで年間40万円強削減できる見通し。2020年5月以降に移転する予定。

第4号議案、旅費規程および狂犬病予防委員会規程の改正について、事務局から説明。異議無く承認された。平成26年以降改正していなかった旅費規程。三重県が今年、キロ単価30円から23円に引き下げたこともあり、本会も経費削減を考慮し、キロ単価40円から30円に下げる形で理解いただいた。また、平成30年制定の狂犬病予防委員会規程文の冒頭、「小動物部会の下部組織として、」を追記した。

9. 報告事項


- 1) 事業報告、前回理事会から本日までの進捗状況について報告。
- 2) 入退会者および特別会員について
- 3) あすまいる委託事業について
- 4) その他
県の検査報告、会費未納者、各部会からの報告等


10. 閉会

15時40分、予定の審議が終わり散会した。

以上の議事の内容を記録し、定款第40条により、議事録署名人において署名捺印をする。

2019年3月14日

議長、代表理事 永田克行 

議事録署名人 西中隆道 

議事録署名人 橋爪功次 